

ナ一旦廉レントセシ美術モ想テ外國人ノ愛慕ニ依テ
學生スルヲ得タリ今ヤ他ノ一切ノ工業モ美術ト同シ
ク外國製ノ他國ニ依テ世日ノ名譽ヲ落キテ益我特
異ノ技藝ヲ世界ニ誇ルスルノ機會ニ遭遇シタルハ日
本ノ榮光トアル可ク此時ニ當リ我輩ノ最
大ノ責任ヲ負フモノナリ日本ノ工業家ガ在来ノ小技藝ニ安
シテ又小技藝ニ小技藝ヲ加ヘ得タルヲ以テ安心セ
テ其藝術ヲ保存スルノ傍ニ新技術ヲ發達スル
ニ力ヲ注グモノナリ後レテ取ラザルヲ決心ス
ルノ一事ナリ今ノ世界ノ廣キ製作品需用者ノ衆多ナ
ル領海ノ世ノ中ト同年同日ノ論ニアラズ適當ノ道ヲ
求メテ製作品ノ販賣ヲ計ラハ何程ノ大工業ヲ營ムモ
故障アルコトナカレシ全盛ノ工業家ハ大ニ慮ル所
アラハシキナリ

報

○行啓 小井の櫻花遊覽の爲向皇后宮も近日
行啓せらるゝ由
○皇女遊宮は本日午前八時三十分下谷二長
門遊宮小井宮内侍伏見宮も御隨伴香川
宮内少輔書記官山口侍從長并近衛士官御殿課吏員
等數名御馬車供奉し同地にて暫時御遊覽の
後黃昏頃還幸せしよし

○杉宮内大輔 同君は布哇國の復命も己に済ミ
れり昨日命令全權公使の兼任を免せらるゝ
○山縣有朋 大東亞島地方巡遊として赴かれ
○山縣有朋 大東亞島地方巡遊として赴かれ
○山縣有朋 大東亞島地方巡遊として赴かれ

○山縣有朋 大東亞島地方巡遊として赴かれ
○山縣有朋 大東亞島地方巡遊として赴かれ
○山縣有朋 大東亞島地方巡遊として赴かれ

○山縣有朋 大東亞島地方巡遊として赴かれ
○山縣有朋 大東亞島地方巡遊として赴かれ
○山縣有朋 大東亞島地方巡遊として赴かれ

事ハ精勵しよりし賀宴として一昨日上野精養軒宮
内省勅委任官を招待したる由
○代理 前職を配せし如く長與内務三等出仕の温
泉場改良御用として加藤御用掛を隨へ本日豆州熱
海へ出發せしを以て不在中永井少書記官代理を命
せしめられぬ
○八木下信之君 過日工部省より農商務省へ轉任せ
し八木下少書記官の管理局札帳炭礦礦道事務取扱
を申付らる
○石黒五十二君 久しく英國に留學せし工學士石黒
五十二君の昨日内務省准委任御用掛(月俸百二十圓)
衛生局保健課勤務を命せられぬ
○桐野利衛氏 前職に記せし通り同氏の過日埼玉縣
飯能より 聖上御遠幸の節御先導の途次柏木村にて
落馬し痛く負傷せしが遂に死去したれば昨日青山墓
地に送葬、警視官吏も多分見送られり又同氏遺族
へ宮内省より金五十圓下賜されたりと

○出發 前職を記せし如く来る三十日より新潟縣に
於て開設の府縣聯合衛生會へ臨場のため内務省准委
任御用掛後藤新平君は川上二等馬柳下御用掛と本日
同地へ出發したり
○出京 前職を記せし後警察諮詢會の爲先出京し
たる警察官の石川縣警部長渡邊桂助静岡縣警部長馬場
晴利、山下秀實愛媛縣警部長真崎介の四氏ありし
○温泉宮 伊豆熱海の温泉場は近來有名に流行地と
ありたるが三菱會社にて先年該地にて御殿場と唱
る一勝區を買入れ此處を温泉寮を新築するやの噂
ありしも其事なく折角の勝區を今日迄其儘に放棄し
りしが今度右一區は宮内省の御用地とあり不日温泉
宮に新築する筈ありと云へり果して然らば自今熱海
の更上一層の流行地とあるからん

○昇降時限 司法省大審院控訴裁判所等の昇降時限
の來月一日より午前八時出頭午後二時退出となり
る由
○福島事件證據物 高等法院にて養父免訴ありし五
十二名の所持品を證據物として是迄取押へたり
之槍劍長刀其他書類等昨日下午渡さるゝ付總代とし
て五十嵐武彦亦城平六奈重次郎の三氏が出院し石品
を受取りたるよし
○百里連乘 軍馬局調馬隊にて兩三日内より一連
間百里の遠乗執行の儀を櫻村同局長より昨日同調
員へ選せられたり
○恩勞休暇 近衛諸隊は過日埼玉縣下飯能に於て演
習の恩勞として昨日各隊の將校より休暇を給ひ兵卒

○陸軍軍報 松本工兵大尉は奉命御用にて仙台鎮臺
へ赴けり○陸軍省にて是迄召募の士官生徒は毎年
七十名ありしが本年の二百名を召募する事あり其
内十四名の自費生徒と定先られたる由
○沖繩重罪裁判所 沖繩縣にて未だ重罪裁判所の
設け無かりしが最早同所にて處分すへき罪囚二十九
名あるより此度新たる該裁判所を設け公判を開く
へき旨其筋へ電報ありたる由
○公判 重罪裁判所第二期五回の公判の牛込橋寺町
平民福田大五郎が強盜事件にて本日開庭辯護人の佐
藤隆氏ありと
○水産博覽會 去八日より廿一日迄二週間同會博覽
への買取の五万五千七百〇六人ある由
○大阪紀念碑 大阪鎮臺の將校兵卒及同府下有志者
は西南の役にて戦死せし者の紀念碑を中の島に建設
する事ハ前考ありし頃日愈々成り付て來
る月五六七三日を以て右大祭を施行し東京の陸軍樂隊
も下阪の都合あるより右付き去二十日宮内省より
金百圓を下賜されたりと云ふ

○統計學 内務省統計課和田莞爾氏は退省後同課官
吏を會して統計學の講義を聞らる不日一書を印刷
て配布の見込ありと聞
○請願規則研究會 本郷區役所にては毎火曜日金曜
日は同區長が會頭となり事務を終りし後有志者居
り請願規則の研究會を開くよし
○保證金總論 今般發せられたる新聞條例依
り全國新聞雜誌社の中凡そ廢業と見認むべきものを
除くの外保証金の總高は金六万圓の概算なりと云
○臨時縣會 岐阜縣より去月中開設の通常縣會は去
る三十一日を以て閉會猶本月中旬臨時縣會開設の旨と
其筋へ届出でたり

○三親睦會 同會の景況の取敢へず大略を前々に記
せしが其詳細を記さん第一書生親睦會の去る十
五日の雨天に解散せしとされ之頃を延へて當日と待
居りし故兩日來の雨僅かお止みて曇天あるも拘り
らず午前八時を期し諸方々行厨を購ひ帯び思ひく
の小旗を手お携て到着せし其實は由々しくこそ見受
けたり尤も該會參集の青年壯士の無慮七百餘名各隊
を組み伍を編み紅白の兩隊を分ち互に色手拭を以て
識別し馬ふしりより扱て九時を台國に萬代橋を荷足
船或ハパティヲ搭し玩弄の喇叭を吹立て船首より
の互に紅白の大旗を押し立く鬼神壯烈。北斗星。自
由撲滅。書生親睦會等の文字を墨濃く筆太く書し朝

風ハ飄して飛ひ下るる
壇浦の戦も新くやわ
起さしめたり夫々下
固岸は別れ橋を蔽て
觀す所りて庭橋より
秋葉神社に側植木屋
とみしれ心各愛お
同軍一進一退曳々聲
ける次第を暫し勝
取られしは三刀旗の
所作りと思はれたり
赤隊は輝を得しハ關
の先鋒を推しよとも
し一白一紅入乱れ引
お見れを桃花陸乱李
争ひ果てハ本營を不
お上り方代橋お若せ
故親睦會として此會
め同使は奉職とし官
第三ハ信濃第四回親
を設け終案の聲聞外
皆河津に招かれ集
會とふる思われぬ殊
譽語の老若男女花見
こととありしとぞ
○代官八宴會 東京府
改撰しるる鳩山和
を懸する爲先代官人
宴會を開き同氏を饗
○各府縣設置年限 今
度其筋を取調
東京、京都、大坂、神
城、初木、福島、青森
山口、和歌山、静岡、
兒島の三府二十三
り本年三月お至る
の三縣ハ明治十五
千葉縣ハ同六年六
馬縣ハ同九年八月
滋賀宮城の三縣ハ
二月月○福井縣ハ
○石川縣ハ五年二
十四年九月設置同
設置同十一年○徳
二月月○愛媛縣ハ
本縣は九年一月設
四月設置全三年十
○古建築取調 内務省

○古建築取調 内務省
○古建築取調 内務省
○古建築取調 内務省

○古建築取調 内務省
○古建築取調 内務省
○古建築取調 内務省

○古建築取調 内務省
○古建築取調 内務省
○古建築取調 内務省

○古建築取調 内務省
○古建築取調 内務省
○古建築取調 内務省